

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論Ⅱ		演習	佐野 広和・小田 佳子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
この授業では、事例演習を通じて、作業療法の役割や専門用語を用いた客観的な記録方法を学び、文献の読み方、活用の仕方について演習を通じて学ぶ。また、将来の作業療法士国家試験合格に向け、1年次より解剖学・生理学・運動学の勉強方法の確認と知識理解の向上を目指す。半期毎の自身の目標への取り組みを内省し、客観的に自己評価ができるようになることを目指す。				
授業の到達目標				
1. 医療人・職業人として望ましい態度をとることができる。 2. 事例演習などを通じて基本的な専門用語を使用し、客観的な記録ができる。 3. 事例演習などを通じて作業療法士としての役割を説明できる。 4. 解剖・生理・運動学の知識のまとめを通じ、勉強の仕方を身につける。 5. 半期毎の自身の目標への取り組みを内省し、妥当な目標を再設定することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション			
2	前期の振り返りと目標設定			
3	解剖学・生理学・運動学の勉強方法の確認			
4	解剖学・生理学・運動学の基礎知識の整理①と小テスト			
5	解剖学・生理学・運動学の基礎知識の整理②と小テスト			
6	解剖学・生理学・運動学の基礎知識の整理③と小テスト			
7	事例演習①			
8	事例演習②			
9	事例演習③			
10	ディベートとは			
11	ディベート実践①			
12	ディベート実践②			
13	神大解剖学実習①			
14	神大解剖学実習②			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト	30%	解剖学・生理学・運動学の基礎知識の内容から出題する		
平常点	30%	参加態度・出席状況・提出物によって評価する		
その他	40%	ポートフォリオ面接		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
グループワークを実施する。グループワークでは積極的に参加すること。予定は前後することがある。				